

5月の 園だより

25年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

ご両親が子どもを預けなければならない時は、子どもにとってよく親しんでいる場所であり、よく知っている人であることが必要です。いきなり知らない場所で知らない人に預けられるような事はできるだけ避けたいものです。この時期、お父さんお母さんと離れて幼稚園に来てくれている子どもたちは、精神的な疲れもずいぶん大きいと思います。幼児期の子どもたちをお預かりしている私たちは、幼稚園が＝よく知っている居心地のよい場所となり、保育者が＝よく知っている信頼できる人となって、子どもたちにとって“また行きたい幼稚園”となる事ができるように、一日一日、心をこめて過ごしたいと思っています。子どもたちの自己意識“自分という感情”は、慣れ親しんだ人々の顔や物や場所を自分の感覚を通して知ることによって支えられています。小さな子どもにとって、慣れ親しんだ顔や場所をまたもう一度見るということは、大きな喜びです。ですから必ずしもお休みの日にあちらこちらと行った事がない場所へ出かける必要はないのです。いつも行く場所、行ったことがある場所、あるいは大好きなお祖父さんお祖母さんのところへ行く、そのようなことの方が幼児期にはふさわしいのです。大人が求めることと子どもが求める事は違うということを意識していただけると嬉しいです。お休みの日に、散歩に出かけるのもいいですね。絵本「きょうはみんなでくまがりだ」のように・・・

ところで、子どもは散歩に行くと、大人との関係を楽しんで、心の世界を共有しようとして歩きます。「ありさん見つけたよ」「だんご虫だよ」「葉っぱがあった」そして落ちていた木の枝を見つけて「宝物みつけた」と言ったり、また「ぼく、いないよ～」と隠れてみたり、このように大人とこの素晴らしい時を共有しようとしている子どもたちですが、こんな時に大人がきちんと応答してくれなかったら・・・子どもはその思いをどこにしまったらいいでしょう、小さな心にはしまいきれない思いです。受け止めてもらえなかった心を、子どもは「だっこ～」という言葉で表すこともありますね。こんな時の「だっこ」という言葉は、大人に思いを共有してほしい、楽しい世界を広げて欲しいと求めているのです。でも、大人はよく言うのです。「もう大きいんだから、歩けるでしょ、」「もうちょっと先まで歩いて！」と頑張らせてしまいます。でもこういう場合の「だっこ」は、歩くのが嫌だという抱っことは質が違うのです。「この葉っぱ、可愛いね」「宝物見つけて良かったね」「だんご虫、まるくなったね」と共有してその世界を広げてもらえたら、子どもたちは、また元気に歩きだして、意欲的に新たな発見をしていくことでしょう。『子どもの世界』を共有してその世界を広げてあげることは、意欲を育てることにつながります。



25年5月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	水	○	2:00		
2	木	○	2:00		
3	金	/	/	憲法記念日	
4	土	/	/	みどりの日	
5	日	/	/	子どもの日	
6	月	/	/	振替休日	
7	火	○	2:00		
8	水	○	2:00	定期健康診断	
9	木	○	2:00	赤ばらさん給食試食会です。詳細は学年のお便りをご覧ください	
10	金	○	2:00	赤ばらさん給食試食会です。詳細は学年のお便りをご覧ください	
11	土	/	/	第2土曜日	
12	日	/	/		
13	月	○	2:00	赤ばらさんは給食が始まりますので2:00降園になります。	
14	火	○	2:00		
15	水	○	2:00		
16	木	○	2:00	父母の会総会が行われます。	
17	金	○	2:00		
18	土	×	11:30	自由登園日	
19	日	/	/		
20	月	○	2:00	赤ばら1組学級懇談会です。	
21	火	○	2:00	赤ばら2組学級懇談会です。	
22	水	×	11:30	誕生会、5月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう	
23	木	○	2:00		
24	金	○	2:00		
25	土	/	/	第4土曜日	
26	日	/	/		
27	月	○	2:00		
28	火	○	2:00		
29	水	○	2:00		
30	木	○	2:00		
31	金	○	2:00		